

2018年11月6日

台風の影響を全国調査！ウェザーニューズ、「第三回紅葉見頃予想」を発表 東・西日本の平野部も紅葉シーズンへ！台風で一部名所に影響も ～1万件の報告を分析、近畿は倒木、関東は塩害による葉の変色が顕著に～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、アプリ「ウェザーニューズタッチ」を通じて紅葉への台風被害を調査(※)し、「第三回紅葉見頃予想」を発表しました。11月6日現在、北日本の紅葉シーズンは終盤を迎えています。これから色づきが進む東・西日本の平野部では、見頃時期が平年並となる見込みですが、気温がやや高めとなる関東や東海では平年より遅い見頃となる予想です。今後、朝晩の冷え込みなどが十分に見込めることから、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。

ただ、台風21号と24号の影響が懸念される所もあります。紅葉への台風被害を調査した結果、近畿では“倒木・枝が折れる”が36%、関東では“葉が変色”が28%に達しました。地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、紅葉する木々や葉が少なくなった名所では、例年よりもボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。被害・復旧状況など最新情報をこまめに確認することをおすすめします。現在の色づき状況や見頃予想日、スポット情報はスマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」でご覧いただけます。全国の紅葉名所750か所のピンポイント天気も確認できるので、紅葉狩りの計画にお役立てください。

※調査概要

- ・調査期間:2018年10月25日～28日
- ・調査回答数:10,376人
- ・調査方法:スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」の一般利用者(沖縄県を除く)を対象に、「紅葉する木々への台風の影響は？」と質問し、4つの選択肢(“影響なし”“倒木・枝が折れる”“葉が落ちた”“葉が変色”)から回答いただいた

本プレスリリースの素材ダウンロードはこちら	一般向けページ「第三回紅葉見頃予想」はこちら	
ウェブ版プレスリリース「第三回紅葉見頃予想」 https://jp.weathernews.com/news/25274/	アプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後「紅葉 Ch.」からアクセス	ウェブサイト「第三回紅葉見頃予想」 https://weathernews.jp/s/topics/201811/060055/

◆2018年「第三回紅葉見頃予想」

<見頃時期:関東・東海は平年より遅く、そのほかの平野部は平年並の予想>

葉が色づく時期は秋の気温と深く関係しており、気温が低いと色づく時期が早くなり、高いと遅くなります。

北日本の山沿いでは、9月中旬～下旬に強い寒気が流れ込み、平年より早い見頃を迎えた所がありました。10月は北・東日本で気温が一時的に上がって色づきが遅れた所もありましたが、10月末に再び強い寒気がやってきたため、北山ダム(佐賀県)で平年より7日早い見頃を迎えるなど、各地で色づくスピードが加速しました。

現在、北日本は紅葉シーズンの終盤で、東・西日本は標高の高い山から低い山へ見頃エリアが移ってきています。今週末にかけて色づきがさらに進み、袋田の滝(茨城県)や寒霞渓(香川県)、白鳥



温泉付近(宮崎県)などで見頃を迎える見込みです。

この先、関東・東海の気温は平年よりもやや高い予想です。このため、これから色づきが進む平野部の名所では、平年よりも遅い見頃を迎えるとみています。一方、そのほかの東・西日本では平年並の気温となる予想で、見頃時期も平年並となる所が多くなりそうです。

<鮮やかさ:今後の天候的には好条件…>

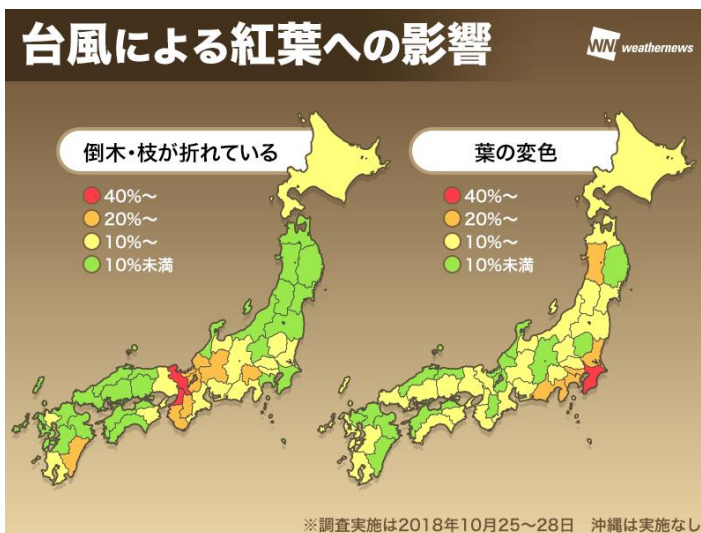
葉が鮮やかに色づくためには、朝晩の冷え込みや、葉が色づく時期の適度な日照と雨が必要です。10月は、東・西日本では平年よりも降水量が少なく、鮮やかな色づくに適さない条件でした。

この先は一転し、全国的に天気が周期変化して“天候的には”好条件となります。葉が鮮やかに色づくために必要な十分な日照や雨、朝晩の冷え込みが見込めるため、これから色づきが進む地域では、鮮やかな色づきが期待できそうです。ただ、今年は8月～10月にかけて台風が相次いで接近・上陸しており、一部の名所ではその影響が懸念されます。

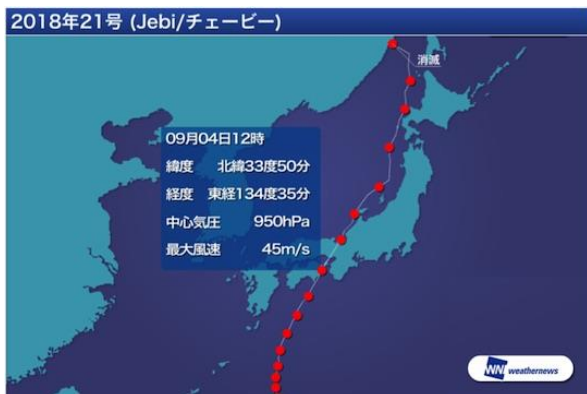
<台風の影響:近畿は倒木、関東は塩害による葉の変色が顕著に>

スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を通じて紅葉する木々への台風の影響を調査し、全国 10,376 人に回答いただきました(調査期間:10月25日～28日・沖縄県を除く)。その結果、近畿や関東は台風の影響がほかの地域よりも大きく、また、紅葉への影響に東西で違いがあることがわかりました。

近畿では“倒木・枝が折れる”が多く、特に大阪府(46.9%)、京都府(44.5%)、滋賀県(33.3%)で被害が発生していました。一方、関東周辺では“葉が変色”が多く、特に千葉県(46.2%)、静岡県(38.6%)、神奈川県(36.2%)など、沿岸地域に被害が集中していました。



近畿と関東周辺に被害を引き起こしたのは、それぞれ台風 21 号、24 号と考えられます。近畿は台風 21 号が直撃し、最大瞬間風速は和歌山で 57.4m/s(観測史上 1 位)、大阪で 47.4m/s を観測、記録的な暴風により木々が大きなダメージを受けました。一方、関東周辺も台風 24 号の影響で風が吹き荒れましたが、風による直接的な被害よりも、塩害によるダメージが目立ちました。これは、台風 24 号の雨雲が抜けた後も暴風が継続したため、雨に洗い流されずに残った塩分が多く、被害の拡大に繋がったとみています。



地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、紅葉する木々や葉が少なくなった名所では、例年よりもボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。紅葉狩りを予定している方は、被害・復旧状況など最新情報をこまめに確認することをおすすめします。

◆エリア別の紅葉見頃予想(北海道の紅葉シーズンは、ほぼ終了しました)

◇東北:紅葉狩りのチャンスは11月中旬まで!

9月中旬～下旬の寒気の影響で、宮城蔵王(宮城県)では10日早い見頃を迎えました。一方、10月は上旬と下旬に気温が上がり、盛岡城跡公園・岩手公園(岩手県)では平年より5日遅く、中津川渓谷(福島県)では1週間遅い見頃を迎えました。

紅葉への台風の影響を調べた結果、秋田県は“葉が変色”が34.4%に達し、東北エリアの中で最も塩害のダメージを受けていました。10月12日頃から変色や枯れの報告が届いており、台風25号が主な要因だと考えられます。

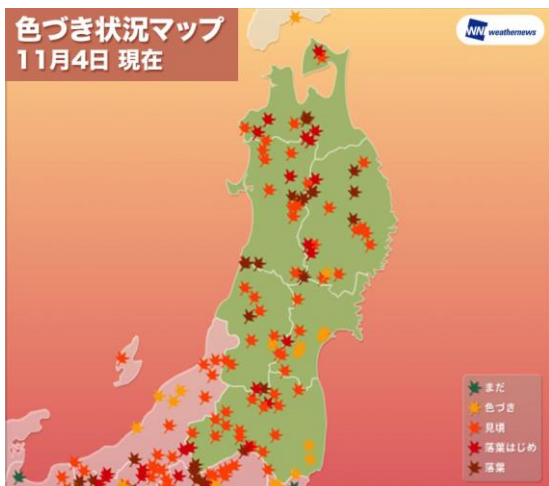
現在は山から落葉が進む一方、盛岡城跡公園・岩手公園(岩手県)やあづま総合運動公園(福島県)など平野部では見頃を迎えています。今年の紅葉シーズンは11月中旬までとなるので、ラストチャンスのお楽しみください。

<今週末おすすめの紅葉名所>

巖美溪(岩手県)、最上峡(山形県)、盛岡城跡公園・岩手公園(岩手県)、福島県立霞ヶ城公園(福島県)



もみじ公園(山形県・11月3日)



◇関東:平野部の見頃は11月下旬以降、沿岸地域は台風の影響懸念

10月は一時的に気温が上がり、関東の山の色づきはスローペースでしたが、10月末に強い寒気が流れ込んだため、一気に色づきが進みました。現在、中津峡(埼玉県)やいろは坂(栃木県)など多くの名所で平年並の見頃を迎えており、国営昭和記念公園(東京都)など平野部でも色づきが始まっています。

この先、平年よりも気温が高めとなるため、成田山公園(千葉県)や上野恩賜公園(東京都)など、これから色づきが進む平野部では、平年よりも遅い見頃を迎える予想です。

紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。ただ、関東では台風24号による塩害の影響が心配です。

紅葉への台風の影響を調べた結果、関東では“葉が変色”が28%に達し、特に千葉県(46.2%)、神奈川県(36.2%)、茨城県(26.2%)、東京都(22.9%)など沿岸地域で多くの塩害報告が寄せられました。また、10月は平年よりも降水量が少なく、鮮やかな色づきに適さない条件となりました。

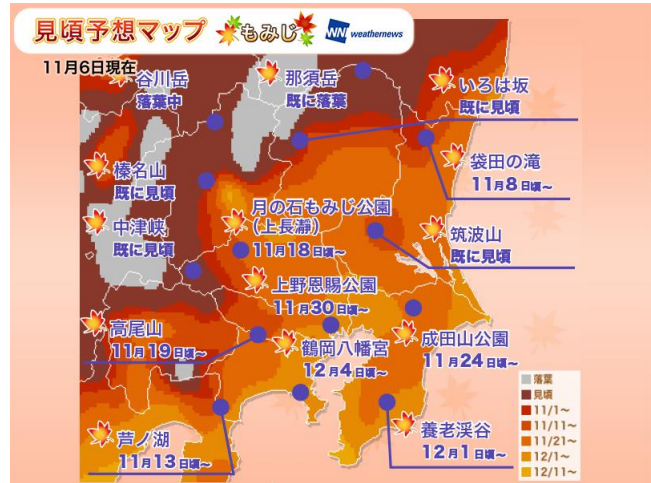
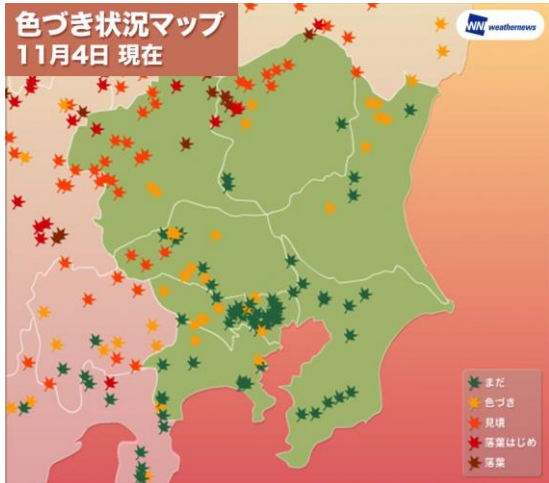
台風と雨不足の影響から、沿岸地域を中心に、平年よりも鮮やかさが今ひとつだったり、葉が減った分ボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。



めがね橋(群馬県・11月3日)

<今週末おすすめの紅葉名所>

筑波山(茨城県)、日光東照宮・日光二荒山神社・日光山輪王寺(栃木県)、袋田の滝(茨城県)



◇中部:平野部の見頃は平年並かやや遅め、一部で台風の影響懸念

9月～10月は平年並の気温で経過したことで、九頭竜湖(福井県)など北陸では平年並の見頃を迎えた所が多くなりました。一方、甲信や静岡県では、10月は平年よりも気温がやや高く、富士山スカイライン(静岡県)では平年より5日遅い見頃を迎えました。現在は、標高の高い山では落葉が進む一方、黒部峡谷トロッコ電車沿線(富山県)など北陸の山沿いや甲信を中心に見頃を迎えています。



大井川源流(静岡県・11月4日)

この先、北陸の気温は引き続き平年並で、永平寺(福井県)など平野部の見頃時期も平年並となる予想です。一方、甲信や東海は平年よりやや高めの気温となり、河口湖畔(山梨県)や香嵐溪(愛知県)など、これから色づきが進む所では、やや遅い見頃を迎えそうです。

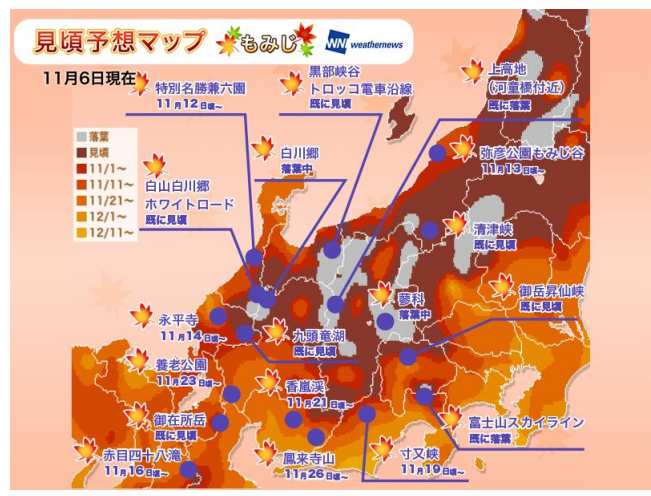
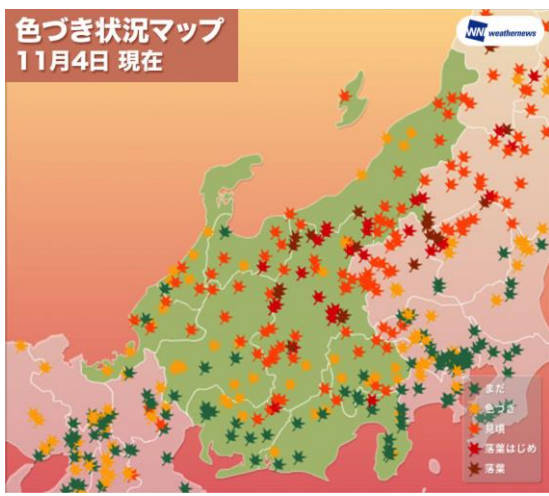
紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。ただ、台風21号・24号による影響が心配です。

紅葉への台風の影響を調べた結果、倒木や葉の変色が見られ、特に“倒木・枝が折れる”が多かったのは山梨県(32.3%)、福井県(30.8%)、岐阜県(23.7%)でした。静岡県では“葉の変色”が38.6%に達し、塩害によるダメージが大きくなっていました。

地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、台風の影響が大きかった当該地域では、平年よりも鮮やかさが今ひとつだったり、木々や葉が減った分ボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。

<今週末おすすめの紅葉名所>

南アルプス街道・早川溪谷(山梨県)、鬼岩公園(岐阜県)、手取峡谷(石川県)



◇近畿：平野部の見頃は11月中旬以降、大阪・京都を中心に台風の影響懸念

10月末に流れ込んだ強い寒気の影響で、近畿の山では平年よりも早く色づきが進み、高野山(和歌山県)では5日早く、玉川峡(和歌山県)では約2週間早い見頃を迎えました。現在、大原三千院(京都府)や奈良公園(奈良県)など平野部でも色づきが始まっています。

この先、気温は平年並となり、これから色づきが進む嵐山(京都府)など、多くの名所では平年並の見頃時期を迎える予想です。

紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。ただ、近畿では台風21号・24号による影響が心配です。

紅葉への台風の影響を調べた結果、近畿では“倒木・枝が折れる”が36%に達し、全国10エリアの中で最も多くなりました。特に大阪府、京都府は“倒木・枝が折れる”の割合が4割を超え、塩害よりも暴風によるダメージを大きく受けました。

地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、台風の影響が大きかった当該地域では、平年よりも鮮やかさが今ひとつだったり、木々や葉が減った分ボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。

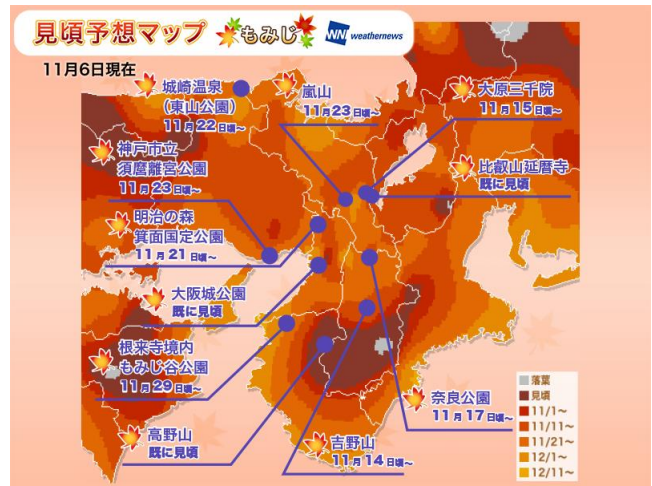
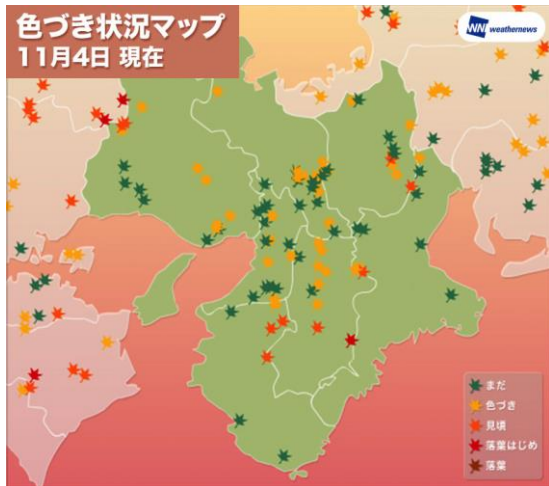
なお、一部の山道では倒木などにより通行止めが発生しているところがあります。事前に最新情報を確認することをおすすめします。



高野山(和歌山県・11月3日)

<今週末おすすめの紅葉名所>

比叡山延暦寺(滋賀県)、原不動滝(兵庫県)、大阪城公園(大阪)



◇中国：鮮やかな紅葉に期待！平野部は11月中旬から見頃に

中国エリアの山では、平年並の見頃時期を迎えた所が多いものの、10月末に流れ込んだ強い寒気の影響で、一気に色づきが進み、奥津溪(岡山県)では平年より6日早い見頃を迎えました。現在、立久恵峡(鳥根県)などでも徐々に色づきが進んできています。

この先、気温は平年並となり、これから色づきが進む宮島(広島県)や長門峡(山口県)など、多くの名所では平年並の見頃時期を迎える予想です。

紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、鮮やかな紅葉が期待できます。

紅葉への台風の影響を調べた結果、山陽から“葉の変色”の報告が寄せられましたが、影響は限定的だとみえています。

なお、一部名所では、西日本豪雨により道路の通行止めが発生しているところがあります。事前に最新情報を確認することをおすすめします。



大山(鳥取県・11月3日)

<今週末おすすめの紅葉名所>

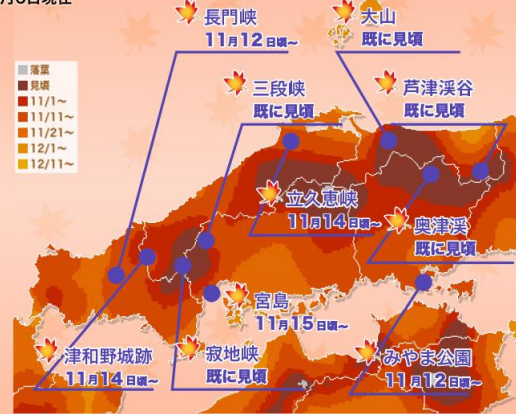
滝山公園(鳥取県)、三段峡(広島県)、特別史跡旧閑谷学校(岡山県)

色づき状況マップ
11月4日 現在



見頃予想マップ もみじ weathernews

11月6日現在



◇四国:鮮やかな紅葉に期待! 平野部は11月下旬から見頃に

四国の山では、平年並の見頃時期を迎えた所が多いものの、10月末に流れ込んだ強い寒気の影響で、一気に色づきが進み、雲辺寺山(香川県)では平年より5日早い見頃を迎えました。現在、山では落葉が進んでいる所がありますが、眉山公園(徳島県)などでも徐々に色づきが始まっています。

この先、気温は平年並となり、これから色づきが進む特別名勝栗林公園(香川県)など、多くの名所では平年並の見頃時期を迎える予想です。

紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。ただ、高知県では台風20号・21号による影響が心配です。

紅葉への台風の影響を調べた結果、高知県では“葉の変色”が19.0%に達し、塩害報告が寄せられました。

地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、高知県を中心に、一部名所では平年よりも鮮やかさが今ひとつだったり、葉が減った分ボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。



一の谷渓谷
(高知県・11月2日)

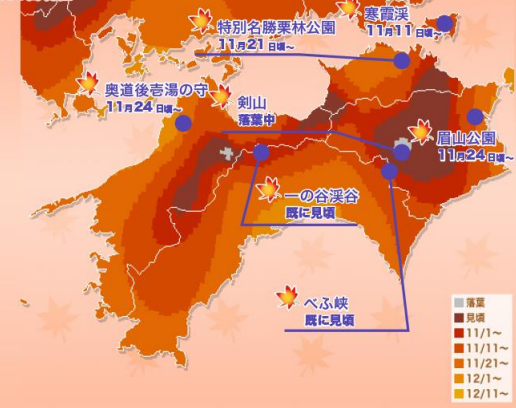
<今週末おすすめの紅葉名所>
べふ峡(高知県)、寒霞溪(香川県)

色づき状況マップ
11月4日 現在



見頃予想マップ もみじ weathernews

11月6日現在



◇九州：鮮やかな紅葉に期待！平野部は11月下旬から見頃に

10月末に流れ込んだ強い寒気の影響で、九州の山では平年よりも早く色づきが進み、深耶馬溪(大分県)では6日早く、北山ダム(佐賀県)では1週間早い見頃を迎えました。現在、曾木の滝公園(鹿児島県)などでも色づきが始まっています。

この先、気温は平年並となり、これから色づきが進む秋月城跡(福岡県)など、多くの名所では平年並の見頃時期を迎える予想です。

紅葉の鮮やかさについては、今後朝晩の冷え込みや適度な日照、雨が見込めるため、天候条件としては鮮やかな紅葉が期待できます。ただ、九州南部では台風24号による影響が心配です。

紅葉への台風の影響を調べた結果、倒木や葉の変色が見られ、“倒木・枝が折れる”被害は宮崎県で23.2%、鹿児島県で15.7%に達しました。鹿児島県は“葉の変色”が17.6%と、塩害のダメージも受けていました。

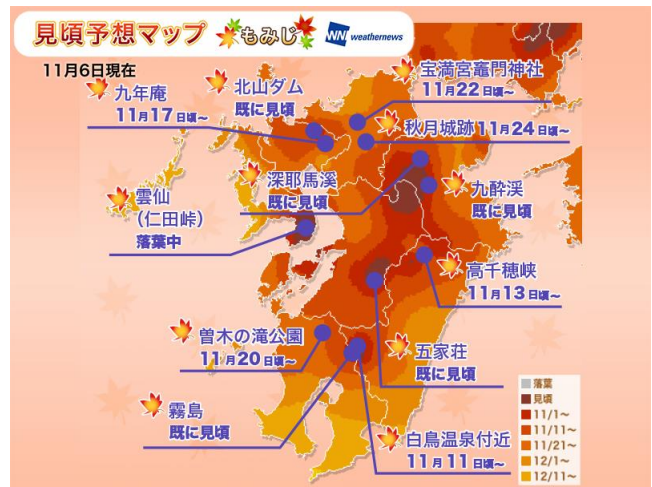
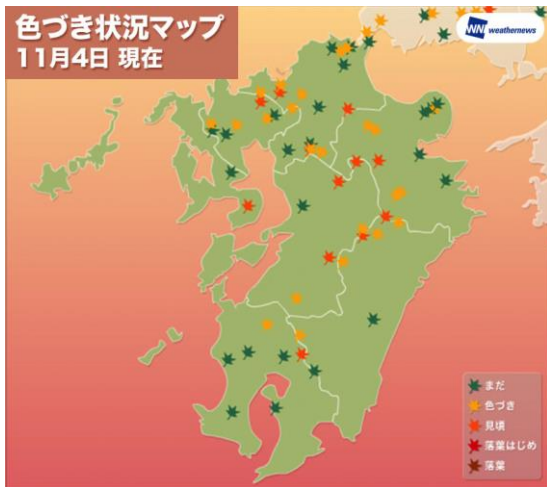
地域全体の鮮やかさが劣るほどではなさそうですが、九州南部を中心に、一部名所では平年よりも鮮やかさが今ひとつだったり、木々や葉が減った分ボリュームに欠ける箇所があるかもしれません。



雲仙・仁田峠(長崎県・11月4日)

<今週末おすすめの紅葉名所>

白鳥温泉付近(宮崎県)、深耶馬溪(大分県)



◆参考情報：都道府県別の紅葉名所情報(11/6 現在)

地域	名所名	見頃開始日(予想)	見頃期間(平年)
北海道	大雪山旭岳	既に落葉	9月中旬～10月上旬
	知床五湖	既に落葉	10月中旬
	大沼公園	落葉中	10月中旬～10月下旬
東北	青森県 十和田湖畔(休屋周辺)	既に落葉	10月下旬～11月上旬
	岩手県 巖美溪	既に見頃	10月下旬～11月上旬
	秋田県 田沢湖高原	既に落葉	10月中旬～10月下旬
	宮城県 鳴子峡	既に見頃	10月下旬～11月上旬
	山形県 山形蔵王	落葉中	10月上旬～10月下旬
	福島県 裏磐梯高原	落葉中	10月中旬～11月上旬
関東	茨城県 袋田の滝	11月8日頃～	11月上旬～11月下旬
	栃木県 いろは坂	既に見頃	10月下旬～11月上旬
	群馬県 谷川岳	落葉中	10月上旬～11月上旬
	埼玉県 月の石もみじ公園(上長瀨)	11月18日頃～	11月中旬～11月下旬
	千葉県 養老溪谷	12月1日頃～	11月下旬～12月上旬
	東京都 高尾山	11月19日頃～	11月中旬～12月上旬
	神奈川県 芦ノ湖	11月13日頃～	11月上旬～11月下旬

中部	山梨県	御岳昇仙峡	既に見頃	11月上旬～11月下旬
	長野県	上高地(河童橋付近)	既に落葉	10月中旬～10月下旬
	新潟県	弥彦公園もみじ谷	11月13日頃～	11月上旬～11月中旬
	富山県	黒部峡谷トロッコ電車沿線	既に見頃	10月下旬～11月中旬
	石川県	白山白川郷ホワイトロード	既に見頃	10月上旬～11月上旬
	福井県	九頭竜湖	既に見頃	11月上旬～11月中旬
	静岡県	寸又峡	11月19日頃～	11月中旬～11月下旬
	愛知県	香嵐溪	11月21日頃～	11月中旬～12月上旬
	岐阜県	白川郷	落葉中	10月下旬～11月中旬
	三重県	御在所岳	既に見頃	10月中旬～11月下旬
近畿	滋賀県	比叡山延暦寺	既に見頃	11月上旬～11月下旬
	京都府	嵐山	11月23日頃～	11月中旬～12月上旬
	大阪府	明治の森 箕面国定公園	11月21日頃～	11月中旬～12月上旬
	兵庫県	神戸市立須磨離宮公園	11月23日頃～	11月中旬～12月上旬
	奈良県	奈良公園	11月17日頃～	11月中旬～12月上旬
	和歌山県	高野山	既に見頃	10月下旬～11月中旬
中国・四国	岡山県	みやま公園	11月12日頃～	11月上旬～11月下旬
	広島県	宮島	11月15日頃～	11月中旬～11月下旬
	鳥取県	大山	既に見頃	10月下旬～11月中旬
	島根県	立久恵峡	11月14日頃～	11月中旬～11月下旬
	山口県	長門峡	11月12日頃～	11月上旬～11月中旬
	徳島県	眉山公園	11月24日頃～	11月下旬～12月上旬
	香川県	特別名勝栗林公園	11月21日頃～	11月中旬～12月上旬
	愛媛県	奥道後壺湯の守	11月24日頃～	11月下旬～12月上旬
	高知県	べふ峡	既に見頃	11月上旬～11月中旬
九州	福岡県	秋月城跡	11月24日頃～	11月下旬～12月上旬
	佐賀県	九年庵	11月17日頃～	11月中旬～11月下旬
	長崎県	雲仙(仁田峠)	落葉中	10月下旬～11月中旬
	大分県	深耶馬溪	既に見頃	11月中旬～11月下旬
	熊本県	五家荘	既に見頃	11月上旬～11月中旬
	宮崎県	高千穂峡	11月13日頃～	11月中旬～11月下旬
	鹿児島県	霧島	既に見頃	11月上旬～12月上旬

※平年見頃期間の定義:2004年から2017年の期間で、紅葉が見頃を迎えた日から落葉が始まった日の平均

※最新の見解および、上記に掲載されていない全国750か所の見頃予想は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイト「紅葉 Ch.」(<https://weathernews.jp/s/koyo/>)をご確認ください。

◆参考情報:紅葉への台風被害の調査結果

	“倒木・枝が折れる” 被害の割合(%)		“葉が変色”した 割合(%)
大阪府	46.9	千葉県	46.2
京都府	44.5	静岡県	38.6
滋賀県	33.3	神奈川県	36.2
山梨県	32.3	秋田県	34.4
福井県	30.8	茨城県	26.2
和歌山県	29.8	東京都	22.9
岐阜県	23.7	和歌山県	19.3
奈良県	23.6	兵庫県	19.2
宮崎県	23.2	高知県	19.0
北海道	19.5	新潟県	18.0
東京都	18.1	鹿児島県	17.6
埼玉県	16.6	山梨県	16.1
鹿児島県	15.7	愛知県	16.1
兵庫県	15.4	埼玉県	15.6
愛知県	13.0	福島県	15.0
静岡県	12.9	熊本県	14.6
三重県	12.4	山口県	14.1
徳島県	12.2	青森県	14.1
佐賀県	12.1	三重県	14.0
長野県	11.7	長崎県	13.1
栃木県	11.0	北海道	12.3
富山県	10.7	広島県	12.2
茨城県	10.2	徳島県	12.2
群馬県	9.9	山形県	11.8
神奈川県	9.6	富山県	10.7
島根県	8.8	宮城県	10.6
秋田県	7.8	岡山県	10.6
福島県	7.5	京都府	10.5
鳥取県	6.9	群馬県	10.4
愛媛県	6.8	大阪府	10.2
広島県	6.7	岐阜県	10.1
宮城県	6.6	石川県	9.8
長崎県	6.6	佐賀県	9.1
青森県	6.3	栃木県	8.5
千葉県	6.2	長野県	8.0
石川県	5.9	奈良県	7.9
岡山県	5.8	岩手県	7.4
大分県	5.7	福岡県	7.3
新潟県	4.9	宮崎県	7.1
高知県	4.8	愛媛県	6.8
福岡県	4.5	島根県	5.9
岩手県	4.4	大分県	5.7
香川県	3.5	滋賀県	5.4
山口県	3.0	香川県	5.3
山形県	2.6	福井県	5.1
熊本県	1.2	鳥取県	0.0